

拳ノ川小学校

『確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳ノ子』の育成

校長 南 早百合

◆はじめに

本年度は、児童数16人、教職員8人で教育活動を進めています。本校は豊かな自然の中に位置し、児童も職員も四季の美しい変化を楽しみながら学校生活を送っています。「拳ノ子」は、素直で明るく、優しさや思いやりの気持ちを素直に表現できる子どもたちです。それは、保護者や地域の方々との温かいふれあいを通して育まれてきたものだと思います。

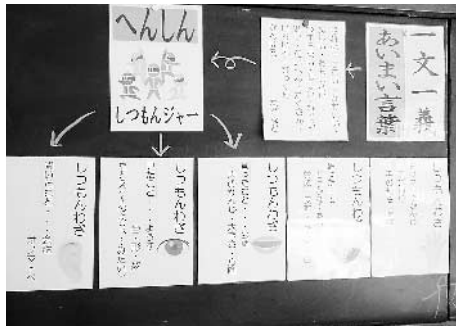
本校は、コミュニティ・スクールとして今年度で13年目であり、学校・家庭・地域の三者が連携し、「信頼される学校づくり」拳ノ川の未来を拓く子どもを育てる」をテーマとして、様々なコミュニティ活動を展開しています。

◆「確かな学力」について

本年度の重点目標を「論理的思考力の向上」「説明文の読み取りの力の向上」と



メモの取り方の説明と練習



作文の書き方指導について

して、教材研究・研究授業を行い、効果的な指導方法について講話をお聞きしたり、資料を活用するなどして授業づくりについて研究を続けています。また、長年続けている「綴り方集会」でも、作文指導や感想の言い方、メモの取り方などについて、児童に説明をする時間を取っています。

◆「豊かな心」について

月に2回、朝の時間帯に「読み聞かせタイム」を設定し、教職員、図書委員、縦割り班の班長が低・中・高学年の教室に行って本の読み聞かせをします。9月には、コミュニティ理事の矢野さんとあかつき館の山沖館長さんに読み聞かせをしていただきました。また、学年ごとに年間読書目標ページ数を決めて読書活動を進めています。今年度は一人ひとりの児童が1年間



図書委員による読み聞かせ



必読図書読書点検カード

で読みたい本を年度当初に20冊決めて読書に取り組みました。目標を達成した児童には、図書委員から表彰をしています。20冊読み終えた児童は、新たに20冊を選んでいます。

その他に、児童会が中心になって、「ありがとうの木」という取組も続けています。友だちの素敵なところを探して「ありがとうの実」に感謝の気持ちを書きます。生活朝礼で児童会役員が発表しています。



ありがとうの木

◆「体力向上」について

天気の良い日は8時から放送にあわせてジャックナイフストレッチと朝マラソンをしています。3分間で校庭を何周走れたか、記録表に記入をしています。二学期からは、「一輪車検定」達人をめざしてがんばろう！」という取組が始まりま

した。5級の技から始め、18の技すべてができたら達人の認定証をもらえることになった。現在、現在3人の達人がいま



美しく色づいた木々のそばを走る子どもたち

◆「主体性」について

様々な教育活動やコミュニティ活動などを通して子どもたちの主体性を伸ばしていきたいように努めています。8月の佐賀北部地域の夏祭りでは子どもたちが手品、剣玉、歌などのだし物を披露し、11月の収穫祭の発表会では、「さが谷昔ばなし」の中から「いられの長吉さん」の劇を楽しく演じました。保護者や地域の方々に評価をしていただく中で子どもたちは自信をつけていっていると感じます。10月からは、高知大学地域協働学部の学生さんたちの企画で「水曜放課後プロジェクト」という取組も始まり、大学生との交流を楽しんでいます。

三浦小学校

「コミュニティ・スクール」の
力で「三浦小ならではの」
教育をつくる

校長 布 正人

◆はじめに

三浦小学校では、学校教育目標を「いつも笑顔で元気です」とし、めざす児童像を「進んで学ぶ子・心豊かでたくましい子・地域が大好きな子」として、全校49人の児童と13人の教職員で歩みを進めています。

三浦小学校は地域とのつながりが強い学校です。その強みを生かして、認定を受けてから今年度で2年目となる「コミュニティ・スクール」の力で、「めざす児童像」を豊かに実現するための授業づくり・学校づくりを行っています。

それでは、今年度の教育活動の一端をご紹介します。

◆学力向上

①授業改善

学び合える学級づくり
学ぶ意欲を感じ、思考を深め、伝え合う場面のある授業づくりを進めています。

なんとといっても授業改善には学級づくりが欠かせません。共感的な人間関係を授業を通して育みます。

②読むことの充実

- ・ NIEへの取組
- ・ ICTの効果的な活用
- ・ ペア読書
- ・ 読書ボランティアの活用

③基礎学力の定着

組織的な加力学習の工夫・学力検査の活用・家庭学習の充実

4月に行われた標準学力調査の結果では、(昨年度の内容の定着度検査)ほぼ全国平均と同等の結果でした。しかし、3年生の国語、5年生の国語が弱いという結果になっています。この結果をうけて、「安心して学べる学級作り」の上にて

- ・ 家庭学習の徹底
- ・ 読むことの徹底
- ・ 忘れた頃に繰り返し
- ・ 帯タイム放課後加力の充実

を徹底して取り組んでいます。

◆絆づくり・仲間づくり

①心の教育の充実

全校の心のつながりや上級生の活躍する場面をつくり、全校の絆づくりや上級生を育てる取組を進めています。

- ・ あいさつ運動
- ・ がんばった朝会
- ・ 縦割り班活動(作業を大切に)
- ・ 児童会を中心とした活動(集会活動・みんなで遊ぶ日)

②豊かな体験活動と交流活動の推進による人づくり

地域の人・もの・こと「産業・文化」の活用により、地域を誇りに思い地域が大好きな児童の育成

- ・ 「生きる力」を体感する場としての体験学習
- ・ 「生華園との交流(稲つきり・夏祭り・餅つき)」
- ・ 「防災参観日」
- ・ 「三世代交流」「11月・みうら学びの月」の取組(家庭のルールづくり、家読の日)

など、コミュニティ・スクールの認定を活用して、「三浦ならではの」活動を計画・実践して行きます。



6年生よる1年生への読み聞かせ

◆健康・安全・体力づくり

基本的生活習慣の確立・防災教育の充実

・ 徒歩通学・朝運動・外遊の推奨

- ・ 基本的生活習慣の確立
- ・ 防災教育の充実

雨の日も風の日も徒歩通学をする子どもたちに頭が下がります。参観日にも保護者の帰りを待つことなく、徒歩で帰ります。2時間目と3時間目の間の休み時間には元気に外で遊ぶ子どもたち、昼休みにはみんな遊ぶ日も計画されます。

防災教育に関しては、いろいろな場面を想定し、年間10回以上の避難訓練があり、その中で、生きた防災教育を進めています。



遠足での避難訓練



防災フェスティバル

今年度は、10月に防災参観日として、地域と共に防災フェスティバルに取り組みました。当日は、起震車体験・豪雨体験・3Dシアター(土石流疑似体験)・炊き出し訓練などに地域と共に取り組み、学校や地域が一体となって、防災意識を高めることができました。

※HPも随時更新中です。